1 大雪被害と支援対策

(1) 今冬期の大雪被害の状況

- この冬の大雪では、全国 21 道県から果樹の枝折れやハウスの倒壊などの被害が報告されている。

農業関係の被害状況等（令和 7 年 5 月 13 日時点）

	全国計			
	青森県	福島県	山形県	
農業被害額 ※ 調査中	244.2 億円	214.8 億円	3.1 億円	4.7 億円
樹体	6,354 ha	5,919 ha	222.0 ha	210.5 ha
農業用 ハウス等	5,480 件	507 件	3,251 件	233 件
(参考)R5 園芸 施設共済加入率	77.0 %	75.4 %	85.6 %	72.3 %

(2) 支援対策

- 被害果樹の植替えや、これに伴う未収益期間の幼木管理経費支援と併せて、苗木の供給が追いついていないことを踏まえ、植替えまでの間の病害発生抑制や苗木の増産を含めた中長期にわたる特別対策を実施。

① 生産性の回復・強化に向けた改植等の取組支援

- ・改植の支援（りんご）
 - 同一品種への改植、一本単位の改植※：17 万円/10a
 - 被災樹体を活用しながらの漸進更新：15 万円/10a
 - 省力樹形への転換：73 万円/10a
 - ・未収益期間の支援：22 万円/10a
(4 年分を初年度に一括交付)
- ※ 災害特例措置。令和 8 年度以降も適用。

② 改植までの病害まん延の防止に向けた取組支援

- ・罹病枝の撤去・処分、地域での薬剤散布：2.5 万円/10a
- ・被害の甚大な樹体の伐採・抜根・撤去：3.1 万円/10a

③ 苗木の迅速かつ円滑な供給に向けた大苗育苗の取組支援

- ・産地単位で苗木をプールする育苗ほの設置：定額（上限 40 万円/産地）

○ 被災した農業用ハウス等の復旧については、農業保険（収入保険・農業共済）や融資により支援。

・ 農業共済：順次共済金の支払いを実施中

（支払額は築年数に応じて取得時資産価値の4/10以上）

・ 主な災害関連資金（金利は令和7年4月18日現在）：

○ 日本政策金融公庫

・ スーパーL資金 金利：1.25～1.90%

・ 農林漁業セーフティネット資金 金利：1.25～1.75%

○ 農協等民間金融機関

・ 農業近代化資金 金利：1.90%

これに加え、青森県、福島県及び山形県では各県の被害の状況に応じて農業用ハウスの再建等に対する支援策を実施。

・ 青森県：補助率1/2

（令和7年3月公表：予算額 2.2億円）

・ 福島県：補助率2/3（県・市町村の計）

（令和7年3月公表：予算額 11.4億円の内数）

・ 山形県：補助率1/2（県・市町村の計）

（令和7年2月公表：予算額 非公表）

2 ひょうによる農作物被害(和歌山県)と支援対策

(1) ひょう被害の状況

- 和歌山県は、4/30(水)にひょう被害の状況を公表。農業被害額は約 48.0 億円 (このうち、**うめの被害が約 47.8 億円**)。

分類		被害件数	被害金額(百万円)
農作物	うめ	4,300 ha	4,778
	すもも	23 ha	15
	えんどう	12 ha	11
	計	4,335 ha	4,804
園芸施設	ハウス	29 件	7
合計		—	4,812

(2) 支援対策

- 今回のひょうによるうめの実の傷果被害に伴う収入減に対しては、農業保険(収入保険・農業共済)と融資により支援。
(被災地域のうめ農家の農業保険加入率: 66%)

和歌山県では、経営維持に要する経費に対する無利子融資を実施(上限 400 万円)。

- また、**被害果実の加工利用促進に対する経費を支援**。具体的には、JAが被災農家を雇用して、通常作業に追加して実施する各種選果等に係る経費の一部を支援。

【参考】自然災害被害果実加工利用促進等対策事業

(令和7年度予算額: 53 億円の内数)

- ・被害果実の加工利用促進(被害果実の選別、加工品の消費拡大に向けた広報等)にかかる経費支援(1/2 相当定額、1/2 以内)

- これに加え、ひょう害により病害感染のリスクが高まっていることから、**地域での追加的な一斉防除による病害まん延防止に向けた特別対策**を実施。

- ・地域一斉の追加的薬剤散布 : 3,000 円/10a